

# 平成30年度 第1回市民と市長の座談会

## 会 議 報 告

事務局 企画財政部広報秘書課広聴係

開催日時	平成30年5月13日（日）午後2時00分～4時00分
開催場所	婦人会館
参加者	男性 5名 女性 3名 計 8名
会議次第	1 開 会 2 市長あいさつ 3 懇 談 4 閉 会
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新庁舎について</li><li>・ 地域包括支援センターの充実について</li><li>・ 保健センター及びファミリーサポートセンターについて</li><li>・ 新庁舎の建設スケジュールについて</li><li>・ 通学路の安全確保について</li><li>・ 小金井第三小学校の児童数の増加について</li><li>・ 新庁舎の面積について</li><li>・ 本庁舎等跡地の活用について</li><li>・ 二枚橋焼却場跡地の活用について</li><li>・ 図書館について</li><li>・ 都市計画道路について</li><li>・ 栗山公園の看板について</li><li>・ 寄付の使われ方について</li></ul>
懇談内容	別紙のとおり
その他	手話通訳者 2名 保育士 2名

## 平成30年度 第1回市民と市長の座談会（懇談内容）

### 1 開 会

#### ○司会者

皆さま、こんにちは。本日はご参加いただきまして、まことにありがとうございます。私は本日の司会進行を務めさせていただきます広報秘書課長の天野と申します。どうぞよろしく申し上げます。

初めに配付資料の確認をさせていただきます。1点目が本日の次第、2点目がアンケート、3点目が平成30年度施政方針、4点目が小金井市新庁舎等建設計画調査業務概要版、最後が（仮称）小金井市新福祉会館建設基本計画概要版。あらかじめ皆様の座席のほうにご用意したものは以上5点でございます。このほか受付にいくつ参考資料を置かせていただいておりますので、後ほどごらんいただき、ご自由にお持ちいただければと存じます。開催にあたりまして、事務局よりご説明申し上げます。この座談会は平成28年度から開始したもので、毎年5月と11月に年に2回から4回程度、市民の皆様と市長とのフリートークということで開催しております。本日は今年度の第1回目の開催となります。本日の進め方でございますが、初めに市政報告ということで、現在、力を入れて取り組んでおります新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設につきまして、市長の西岡より簡単に説明させていただきます。その後、意見交換ということで皆様から自由にご発言いただき、それに対し、市長がお答えするという形で進めさせていただきます。懇談に入る前に、事務局より3点ほどご了承いただきたいと思っております。1点目、懇談中は議事録作成のため録音をさせていただきます。2点目、懇談の様子を撮影した写真をホームページに掲載させていただきます。写真にもし写ることが差し支えあるようでしたら、後ほどお声がけいただければ写らないような形で配慮させていただきます。3点目、本日の終了時刻は午後4時までとなっております。会場を撤収する都合上、終了後につきましては、速やかにご退場いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

では、次第にしたがいまして市長の西岡よりご挨拶申し上げ、引き続き市政報告をさせていただきます。

### 2 市長あいさつ及び市政報告

#### ○西岡市長

皆様、こんにちは。ご紹介いただきました小金井市長の西岡真一郎でございます。

今日はちょうど今、雨が降り始めて、予報では明日の朝まで降り続けるということですが、大変、お足元の悪い中、また日曜日にもかかわりもせず、足をお運びいただきましてまことにありがとうございます。今日は平成30年度第1回の市民と市長の座談会を開催させていただきます。この座談会は私が市長に就任をさせていただいて、ちょうど2年と5カ月を迎えたところでございますけれども、ぜひ市民の皆様方とさまざまな意見交換をさせていただきたい。そして、できますれば市役所などの限られた地域での場所ではなくて、小金井市域をなるべく回りまして、皆様方の参加しやすいような場所ということで考えてまいりました。今日は婦人会館ということでございますので、東小金井駅の北口地域の方々にお集まりいただいているかと考えております。

また、今年、昭和33年10月1日に当時小金井町が小金井市になりちょうど60年の節目、市制施行60周年を迎える節目の年となりました。これまでの歴史を振り返り、今を見つめ、未来を展望する年にしたいと考えております。また、今年、10月7日にも市政施行60周年記念式典を開催いたします。この式典にあわせまして、小金井市では初めてとなる小金井市歌、あるいは市の初めてとなりますプロモーションビデオ、あるいは名誉市民の表彰、贈呈式、さまざまな企画を準備してございます。また、既に小金井市のオリジナル婚姻届を制作するなど、この1年間はたくさんの記念事業がめじろ押しとなってございます。ぜひ多くの市民の皆様方に盛り上げていただければと考えております。

また、本日は皆様との対話を通しまして、たくさんのご意見をいただき、それを今後の市政運営にしっかりと反映させていきたいと思っておりますので、どうぞ様々なご意見、市政に対するご要望をお聞かせいただきたいと思いますし、皆様方と意見交換をさせていただけたら大変ありがたいと思っております。そして、皆様方からお寄せいただく声、ご意見、ご要望、反映できるものは反映をしていきたい。そして、検討すべきものはしっかりと検討してまいりたいとこのように考えております。今日は意見交換になるべく時間を割きたいので、この後、30分以内で私のほうから主な市政の概要と、また今、小金井市の公共施設の老朽化対策の問題の中では、新庁舎建設及び（仮称）新福祉会館の建設が非常に重要な時期を迎えております。一人でも多くの市民の方々にこの庁舎及び福祉会館建設の実現に向けた取り組み状況をぜひ知っていただきたいと思いますし、情報を共有させていただきたいと思っております。また、皆様方からもいろいろなご意見を拝聴させていただければと願っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。その後1時間半ぐらいを意見交換に使わせていただきたいと思います、このように思っております。よろしく願いします。

それでは、この後、パワーポイントを使わせていただいて、早速、庁舎建設と福祉会館建設に向けた取り組みについて、お話をさせていただきたいと思っております。資料といたしましては、お手元に配ってあるものがこれから画面で出てまいりますので、基本的には画面をごらんいただき、お話を聞いていただければありがたいと思っております。新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設についてでございます。

これから使うパワーポイントは既に3月に3回、市民説明会を開催させていただいたときに使わせていただいた資料でございます。

まず、新庁舎建設でございます。小金井市は庁舎建設の課題を長い間、抱えてまいりました。この後、またお話をいたしますけれども、これまでの間に平成25年3月には新庁舎基本計画を策定してございます。その後、私が平成27年の12月に小金井市長に就任させていただいてからの2年5カ月。私は小金井市の長年の課題である新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設につきまして、特に力を入れて取り組んでまいりました。小金井市が何としても解決をしなければいけない最重要課題の1つと捉えてございます。そして、この間に庁舎と福祉会館は平成33年度末までに竣工をぜひ終えたいと、これを目標としてございます。そして、新庁舎も新福祉会館もその建設場所を2つとも庁舎建設予定地にしたいということを申し上げてまいりました。最も有力な候補地ということを主張してまいりました。そして、この間、庁舎等の執務環境調査、あるいは新福祉会館の基本計画の策定、そして、新庁舎等建設計画調査などを行うとともに、庁舎建設予定地の測量、地歴調査、それから土壤汚染調査といったものを行ってまいりました。土壤汚染調査につきましては、もともとミシンをつくっていた工場ということで、昭和4年からずっとどのような形で土地が利用されてきたかを調べてまいりましたが、土壤汚染のおそれはないということで今後、庁舎建設の準備に移行してまいりたいと考えてございます。今の庁舎は小金井市役所本庁舎、これは連雀通り沿い、築52年を迎えています。そして、本庁舎の敷地内にございます西庁舎につきましては、もう築59年ということで、木造2階建てでございます。大変古くなっております。また、この本庁舎も西庁舎も耐震の関係で課題を抱えております。災害に強い庁舎機能、防災の拠点となる庁舎機能の早期の機能の確立が私は急がれているだろうと考えてございます。また、本町暫定庁舎というものも築年数も39年を迎えておまして、こちら旧耐震基準になってございます。そして、第二庁舎、多くの市民の方々が訪問するのが、訪れていただけるのがこの第二庁舎でございますが、こちらは築年数24年になりますけれども、暫定的に賃借、有償でお借りをして市役所庁舎として活用させていただいてございます。以上、この庁舎ですが、実はこの庁舎以外にも保健センター、健康課というものが貫井北町の小金井市の一番西側にございます。またこのほかに文書倉庫、災害対策用資機材置場などがございます。小金井市の庁舎というものは4キロ、3キロの大変コンパクトなシティでありながらもこのように大変分散をしている。市民の方々のサービスを提供する上で多くの課題を抱えている。そして、私は市役所職員の業務につきましても、非効率な部分が否めないと考えてございます。そして、小金井市の新庁舎の基本計画、これは平成25年3月につくったものでございまして、審議会を立ち上げ、市民参加によって作り上げたもの、私はこの平成25年3月の建設基本計画を反映していきたいと考えております。これはこの庁舎の理念を示しているものでございます。自治の要となる市民のための庁舎、素顔が見えるコンパクトな庁舎、人や地域に安全でやさしい庁舎を考えております。それから、庁舎の機能と整備方針ということでございますが、細かい話に

なってきますので、この辺は少し先に進ませていただきたいと思います。防災拠点としての庁舎、これは非常に重要な観点だと思っております。素顔が見えるコンパクトな庁舎、こちらも大切な理念だと考えてございます。そして、今の庁舎の規模と機能配置ということの想定でございますが、計画人口といたしましては平成32年の将来人口約12万人、新庁舎に配属の想定職員数559人、議員定数24人、新庁舎の全体規模としては1万3,000平米、実際はもう少し縮小してございます。こちらが庁舎部分です。

今度は福祉会館のほうに移行いたします。(仮称)新福祉会館、これは何かと申し上げますと、小金井ではかなり長い間、約40年近く福祉会館というものが連雀通りにごございましたが、こちらはもう既に耐震性に大きな課題がありまして、平成28年3月31日末をもちましてすでに閉館をいたしました。小金井市の福祉の拠点として長い間使わせていただいたところでございます。そして、今は福祉会館も解体をいたしまして、今はもう完全な更地の状態になっているところでございます。年間で9万5,000人の方々が利用する福祉の拠点でありまして、今は暫定的にさまざまな機能が分散した状態で事務所、居を構え、業務を担っていただいております。今後とも私としては新福祉会館、小金井市に絶対に必要な施設になってございますので、この新福祉会館建設基本計画を、これは私が市長に就任してから市民検討委員会を立ち上げ、策定したものでございます。大変たくさんの市民検討委員会の方々、そして市民参加にご意見をいただきまして、練り上げた基本計画となっております。4つの理念といたしましては、人間性の尊重、自主・自立の確保、参加・連帯と共生、生活の質の向上となっております。この小金井市新福祉会館建設のコンセプトといたしましては、地域共生社会を実現するための拠点というのを大きな柱とさせていただきます。その1つが保健福祉の総合的支援の充実、2つ目が参加と協働による多様な交流や活動の推進、3つ目が地域福祉活動の推進でございます。この小金井市新福祉会館建設の基本計画策定にあたりまして、この新しい福祉会館をどこに建設するべきなのかということを考えました。新庁舎につきましては過去1万人アンケートなども開催いたしました。庁舎につきましては平成4年に蛇の目ミシン工業から小金井市が庁舎建設予定地として取得し、既に26年もたっているわけでありますけれども、庁舎につきましては庁舎建設予定地、蛇の目ミシン工業跡地につくるということの方針は、これは私も変わらないと思っております。この福祉会館建設につきましては、市域のいずれのエリアにも偏らない、福祉と保健に関する相談機能は申請手続きなどの受付の窓口と近接しているほうがいい、これは市役所のことを指してございます。交通手段においては自動車が欠かせません。障害をお持ちの方々や高齢者の方々もご家族の方々と来られる施設でございます。一定のオープンスペースの確保が必要。そして、この福祉会館に社会福祉協議会という事業団体が入っております、いざ大災害が発生したときにはここに災害ボランティアの拠点というものができますので、小金井市が設置する災害対策本部と緊密な連携をとるべきだと思いました。その中で、市のほぼ中央に位置する、小金井市は4キロ、3キロの非常にコンパクトなシティであります、庁舎建設予

定地は市の中央に位置しております。そして、庁舎機能との連携が重要、新庁舎は庁舎建設予定地の建設の方針でございました。また、この庁舎建設予定地であれば、駐車場の確保が小金井市内では非常に確保しやすい場所となっております。徒歩、自転車または公共交通を利用することも想定しております。建設場所は庁舎建設予定地とし、市の中心的な行政施設と市民サービスの中核を担う庁舎と同じ敷地に整備することによって、市民サービスを向上させ、地域共生社会の拠点を目指していく。このことを目指すことを私としては市民の皆様方と一緒に考えてきたということになります。こちらがちょうど庁舎建設予定地でございます、この赤いところでございます。市のちょうど中央に位置しております。武蔵小金井駅に若干、近いんですけども、線路からちょうど見える場所になります。したがって、多くの方々、小金井市民だけではなくてたくさんの方々に視覚的に捉えられる場所になるかと思っております。また、この新福祉会館の中には貫井北町、小金井市の一番西側にある保健センター、子ども家庭支援センター、ファミリー・サポート・センターもこの福祉会館の中に位置づけたいということでございます。今まで東町地域の方々など、子ども家庭支援センターに通われないという方が例えば今日のようなお天気の際は通われるのはとても大変でございました。しかし、市の中心部にあればアクセスもしやすくなる、そして、この保健センターではたくさんの重要な健康にかかわる事業が行われておりますけれども、市の中心部にあることによって、より一人でも多くの方に健康に関するさまざまな事業を受診していただくことができる、このように考えております。その他、福祉共同作業所、シルバー人材センター、老人クラブの悠友クラブ連合会、社会福祉協議会、市民協働支援センター、また、多目的スペースやマルチスペース、家事実習室などもつくってまいりたいと思っております。また、福祉の総合的窓口、これは新しい施設でございますけれども、福祉総合相談窓口というものもぜひ設置をさせていただきたいと思っております。そして、自立相談サポートセンター、さらに、福祉オンブズマン、災害ボランティアセンター、こういったものも設置をしてみたいと思っております。これが一つ一つのこの中に入ってくる機能の詳細な中身でございます。全体で途中、市議会の方々からもいろいろなご意見をいただきまして、反映できるものは反映させていただきましたが、全体の規模としては4,400平米の規模となっております。ボランティアセンター、多目的スペース、福祉総合相談窓口、小金井市生活困窮者自立支援事業、福祉サービス総合支援事業、ふくしネットこがねい、障害者就労支援事業、そして、小金井市福祉サービス苦情調整委員、福祉オンブズマン、災害ボランティアセンター、そして小金井市の社会福祉協議会、これらの方々が大変重要な役割を担われる施設だとなっております。今現在は、暫定的に北大通り、武蔵小金井駅北口、山王稲穂神社の近くの事務所に仮移転をして事業を担っていただいております。そもそもこの福祉会館とはというところでございますけれども、連雀通りでございます。この間、小金井市の福祉の拠点として大変重要な役割を担っていただきました。この辺の施設が集約をされることになります。今現在、貫井北町の保健センター、それから、もうあそこにはありませんけれども、福祉会

館、また市役所第二庁舎の中に今、入っているんですけれども、障害者就労支援センター「エンジョイワーク・こころ」、こういったものも福祉会館に集約してまいります。また、シルバー人材センターの事務所も福祉会館の中に入っています。このシルバー人材センターの事務所もこの間ずっと課題となっていたものでございます。そして、駐車場の台数、駐輪場の台数ということで、庁舎と福祉会館を一体で整備いたしますので、駐車場につきましては126台、駐輪場につきましては400台を想定してございます。福祉会館の面積はおおむね4,400平米を想定してございます。

そして、これが庁舎建設予定地の現在の図面となっております。しかし、この中にも課題がございました。庁舎建設予定地の中には暫定的に空き缶とペットボトルを処理する施設を平成8年にこのように配置してございました。しかし、このままこのペットボトルや空き缶の施設を置いたまま建設をいたしますと、かなりの制限を受けることとなります。したがって、この空き缶とペットボトルの施設をどうするのかということも大きな課題として検討を積み重ねてまいりました。これが空からの映像となっております。現在は、この公園、暫定広場ではゲートボールで利用していただいたり、また平日の午前中などはたくさんの保育園の子供たちが元気よく遊んでいる場所であります。また、非常用、災害用の給水施設、これは井戸を掘っております、災害用の井戸があります。防火水槽もございます。また、リサイクルセンターもございます。これは先ほど申し上げたものです。

そして、建設方針というものもどのように庁舎と福祉会館を建設したらいいんだろうかということを検討してまいりました。単体の場合です。単体というのは庁舎と福祉会館を別々に建てた場合。複合の場合、庁舎と福祉会館を同じ建物、一体のものとしてつくった場合ということになります。そうしますと単体ですと単純に庁舎が1万2,000平米と考えておりましたので、合算した数字になりますが、庁舎と福祉会館を複合した場合には面積の削減の効果がわかっています。

施設配置のパターン、何パターンも検討いたしました。そして、最終的には清掃関連施設の先ほど申し上げました空き缶とペットボトルを暫定的に庁舎建設予定地の中で、移設をすることが最も庁舎建設予定地を有効に活用できる方策と考えさせていただきました。この辺のところは説明を省かせていただきます。複数のパターンを検討した結果、私どもといたしましては一番下のC r e - 2というパターンで庁舎建設、福祉会館の建設を計画することが最も庁舎建設予定地を最大限に有効できる方策だということを検討させていただきました。ちなみにこのB - 2です。清掃関連施設をそのままの状態で作った場合は奥行きが大変短く、そして縦に細長い建物にしなければならないということでもございました。このような形になります。これは缶、ペット、今のまま何も変えなかった場合です。そして、このままの場合ですと庁舎の中に入っていく人の動線、あるいはロータリーなどを建設することがほぼほぼできないということでもございます。こちらが清掃関連施設がある中で庁舎と福祉会館を複合で建設した場合ということでもございますが、このような形になります。先ほどのパターンとあまり変わりません。それから、C r e - 1というものが

ございまして、ペットボトルの施設だけを端に、北東側に寄せた場合です。このような形になります。しかし、この形でも東西に長い建物になってしまいます。最終的に私どもが最も庁舎建設、福祉会館に適している、目指すべき形としてはこのCre-2というものになります。これは一旦缶、ペットの施設をこの市域内の西南に一度寄せます。このことによって庁舎建設予定地をほぼ更地の状態と遜色ない状態にさせていただいた上で、庁舎と福祉会館をこのような形で複合で建てる。そうしますと奥行きが大変十分にとれ、そしてこのロータリーですが、人の動線も確保できる、そして、駐車場の配置も立体駐車場に一部なりますけれども、126台の駐車場の配置が可能となる。そして、緑地もつくることのできる。そして、庁舎建設にあわせて缶とペットにつきましてはずっとここにあるわけではございません。いずれ平成36年ぐらいにはこの缶とペットの施設はいずれは貫井北町のほうに最終的なリサイクル施設をつくりますから、約4年から5年間、ここに暫定的に置くということになります。したがって、この缶とペットの施設をリース契約によって最もお金をかけない形で暫定的に移設をしたいということでございまして。この缶、ペットの施設は最終的なリサイクルセンターに平成36年に移設をすることができますと、ここは広場と書いてありますけれども、この最終的な利用方針につきましては、今後固めていくこととなりますけれども、ちなみにこの広場に建物を建てるという場合でも連担建築物設計制度を使いますと5,000平米までの建物が建設可能ということになります。しかし、このことにつきましては、私としては当面は広場で活用していきたいと思っております。もう一度この図面でお見せをいたしますと、この形が缶、ペット施設がある状態の中で、そして早期に庁舎と福祉会館を回復しなければいけません。庁舎は長引けば長引くほど第二庁舎の賃借料金という課題があります。一刻も早く防災の拠点に庁舎をつくり上げたいと思っております。そして、(仮称)新福祉会館につきましても閉館してからのなるべく早く新しい福祉会館を建てていただきたいというたくさんの市民の声、関係団体の声があります。こういった声に応えるべく最短で実現するためには平成33年度末、この計画で私としてはぜひつくり上げてまいりたいと思っております。

この間、市民ワークショップなども活発に開催してまいりまして、市民の方々からいろいろな意見をいただきながらこの計画を練り上げてまいりました。本当にたくさんの貴重なご意見をいただきました。ちなみに5つのグループに分かれて、いろいろな検討をしていただきましたけれども、5つのグループのうち4つのグループの方々がお示ししたような福祉会館と庁舎はやはり複合であったほうが便利だと、市民の方々にとって福祉会館に行く方は市役所の申請もたくさん利用する方が多いので、せっきゃく同じ敷地内にあるんだったら一体の建物の方がとても便利ですという多くの声をいただきました。ワーキンググループ、5つのグループの方々にもいろいろな検討をしていただきましたけれども、同じ敷地内にあるのに別々であるよりは、同じ建物として市民の方も職員の方も連携のしやすい使い方、作り方がいいのではないかとのご意見をいただいたところでございまして。そして、新庁舎と福祉会館の整備手法につきましては、先ほど申し上げましたように庁

舎と福祉会館を複合でと考えております。この辺は少し話が長くなってしまいますので飛ばします。この間、市役所の中でも多機能複合化というものを実現することができれば、期待する効果としてこのようなものが挙げられますねということ積み上げてまいりました。これはあくまでもイメージです。C r e - 2という形で配置した場合には南側には庁舎機能、北側には福祉会館の機能、庁舎は7階建て、福祉会館は4.5階建て。4.5というのは5階建てなんですけれども、5階部分がそのフロアの半分程度ということになります。これはあくまでもイメージでありますけれども、今後基本設計に移行する中で、より詳細な検討を進めてまいりたいと思っております。この辺はさまざまなパターンで検討しましたけれども、いろいろな分野にまたがりまして検討を進めた比較表でございます。最終的な結論といたしましてはC r e - 2というものがこの小金井市が目指す庁舎と福祉会館につきましては優位性があると判断をさせていただいたものでございます。こちらが財源計画となっております。C r e - 2の場合ですとおおむね全体の総事業費としては約90億円を見込んでおります。またその財源としては庁舎建設基金、地域福祉基金、こういったものを最大限活用するとともに、免震構造も検討に入っておりますのでいかに防災に、揺れに強いものであるかというのは大事な視点でございますので、免震構造というものも視野に入れてまいりたいと思っております。そして、50年、効果的な管理を行って、さらに数十年。私の個人的な思いとしては大切に使って、途中で大規模改修などしながら、計画的な修繕もしながら躯体がしっかりしたものをつくり上げていく責任があると思っておりますので、私は最終的には100年は利用できる、そんな市役所を目指すべきなんだろうと考えております。また、長くたくさんの方々にご利用していただくこととなりますことから、地方債起債を有効活用させていただきたいと考えております。

こちらがスケジュール表になっておりまして、平成33年度の末、平成34年3月に完成する、竣工を目標としてございますから、これが実現できればその後、引っ越しをしたりしなければいけませんので、実際の稼働は平成34年のゴールデンウィークの後ぐらいになるのかなと思っております。そして今後、この基本設計というものに移行してまいりたいと思っておりますが、小金井市ではさまざまな予算を執行する上では、予算というものを市議会に上程して、議会の皆様方のご議決をいただかなければ、前に進めることができません。今後、小金井市議会の皆様方にご理解いただけるように、そして、市民の皆様方にもご理解いただけるように一生懸命努力をしてまいりたいと思っております。長年解決できなかったこの庁舎問題を解決するとともに、そして福祉の拠点である福祉会館の早期の建設を小金井が実現する方策としては、私といたしましてはこのC r e - 2というものが最も望ましい方策ということで、2年4カ月一生懸命検討を進めてまいりました。この検討の結果が実現できるように努力してまいりたいと思っておりますし、また、コスト意識を持つことがとても大切だと思っております。もっともっと検討を進め、この後にも市民参加によるいろいろなことを考えておりますが、お声をいただきながらもっとコストの節減に取り組む必要もあると考えております。

以上が庁舎及び福祉会館建設についての私からの報告となりますので、使い方などにつきましていろいろなご意見をいただければと思っております。あとはお約束の30分まで5分程度ありますので、5分程度、少しその他のこととお話しさせていただきたいと思っております。

この庁舎建設、福祉会館の建設にあわせまして、連動する課題がたくさんあります。JR中央線の高架下をどのように連動して有効に活用していくのか。あるいは既に高架線になっていますけれども、南北路線がないココバス路線。今のココバスは開かずの踏切時代の路線状態となっております。私はこれは公共施設の大きな再編整理でございます。小金井市は初めて今の職員にとりましては、誰一人、庁舎建設という大きな事業を経験していません。したがって、これからコンストラクションマネージャーという専門的な知見を持ったチーム、行政の側に入ってもらって考えておりますけれども、このココバスの総合的な見直しも4年後、庁舎と福祉会館を建設するときに新しい路線を誕生させたいと思っております。そのための予算はご議決いただきまして、早速ココバスが初めて本格的なこれから総合的な見直し事業によいよ着手をさせていただきたいと思っております。

そして、小金井市の大きな課題ということで申し上げますと、皆様方のお手元に施政方針というものを配らせていただきました。この施政方針は平成30年度に私が小金井市の抱えている課題を解決するために、何としても取り組ませていただきたいというものを解決方策や取り組み方針を書かせていただいたものでございまして、ぜひお目通しをいただければと思っております。小金井市の最重要課題、可燃ごみの処理の状況。もう来年の早ければ12月、再来年の1月には浅川清流環境組合での試験運転を開始し、平成32年4月に向けまして、本格稼働を目指す取り組みが始まってまいります。また駅周辺のまちづくり、そして、行財政改革への取り組み、そして、私が非常に力を入れております子育て環境の向上、待機児解消への取り組み、子育て、子育ち、そして子供たちの教育環境の向上につきまして、平成30年度にどのように取り組んでいくのかという方針を書かせていただいております。平成30年5月1日現在の小金井市の人口が12万917名になりました。昨年10月10日に初めて12万人を超えました。わずか半年近くで900人以上人口が増えていることとなります。世帯数も5月1日現在で6万183世帯。初めて6万世帯を超えました。12万市民、6万世帯というのが小金井市の現状でございます。そのうち0歳から15歳、いわゆる子どもたちは1万5,606名に届いています。そして、高齢化率もこれは毎年毎年、増えております。意外なことですけれども、小金井市の90歳以上の方たちは何人ぐらいいらっしゃると思いませんか。1,600人もいらっしゃいます。そして100歳以上の方、男性が7名、女性が56名いらっしゃいます。女性の方がとても長生きですね。小金井市の男性の平均寿命は81.9歳で女性の平均寿命は87.5歳になっています。これから高齢化社会を迎える中で元気な方々も大勢いらっしゃいます。生きがい、やりがいの持てる小金井市をつくり上げてまいりたいと考えております。

それでは、ちょうど30分になりましたので、私からの報告は以上でございます

ので、あとは皆様方からどうぞ好きなテーマでいろいろなご意見をいただければと思います。特に新庁舎及び（仮称）新福祉会館についても、何かご感想、ご意見があればぜひお寄せいただければと願っております。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

### 3 懇 談

#### ○司会者

では、これより意見交換に入りたいと思います。ご意見のある方、挙手をお願いします。

#### ○市民A

すいません、33年竣工、営業開始というのだから、それまでの間に市長選挙があるんですね。そうすると市長さんが多分1年、2年ぐらいの間に市長さんがかわられると考えられますね。市議会議員にも2人建築士がいたんだけど、その話を聞いたら市長さんの在任中にできてもおかしくないんじゃないかと。建築士が2人とも言ってました。だけど、何でそれが33年までさらに延びたのか。いろいろ計画だとか企画だとかいろいろな面もあるんでしょうけれども、そのところはなんですかね。

それからもうあと1つ、社協の中には包括支援センターというのがあるんですね。僕はどっちかというの大々的に福祉会館を大きな部屋に設置するというのではなくて、福祉会館の本部はそんなに大きなくて、あと4カ所の東西南北の包括支援センターの方を充実するべきじゃないかと、そういうふうな意見なのか、そのことを、2つだけ伺います。

#### ○西岡市長

今までの庁舎と福祉会館のスケジュールに関してでございます。33年度末竣工というのは現時点では早期の建設を目指した結果でございます。基本設計、実施設計、建築期間、こういったものも含めると、私が市長に就任をさせていただいてから33年度末というのが最短、早期のスケジュールということで、確立したものです。

また、市議会の皆様方からも庁舎も福祉会館も早期に建設すべきであるという決議を全会一致でいただきました。私としては、もう少しでも短縮できればという思いはもちろんありますけれども、可能な限りコスト意識を持って取り組んでまいりたいと思っております。33年度末竣工目標ですから、正確には平成34年3月の

竣工、完成を目指します。その後、移転、引っ越しというものがございしますので、また竣工してから電気設備ですとか空調ですとか市民の方々、職員の方々が過ごすためのいろいろな設備、備品の投入がございします。そういった一定の期間が必要になります。目標としてはゴールデンウィークの期間が引っ越ししやすい期間かと考えております。

したがいまして、平成34年のゴールデンウィーク後、ちょうど今ごろの時期当たりを想定しながら準備をしまいたいと思っております。しかし、全ては市議会の皆様方のいろいろなご理解とご議決がなければ前進しませんので、そんなところでは。

それから、地域包括支援センターのご指摘でございします。現在、小金井市は4つの地域に分けて地域包括支援センターの方々にさまざまな事業を担っていただいております。今度つくる福祉会館というのは、まさに福祉の総合拠点になります。これから地域包括ケアシステムというものがますます重要になってきます。在宅医療、在宅介護、こういったものをどのように充実していけるのかというのは大きな課題で、ご指摘のとおりです。したがいまして、福祉会館をつくるから地域包括支援センターは今のまま何も変えないという考えは持っておりません。これからも地域包括支援センターの事業の充実には一生懸命努めてまいりたいと考えております。

○司会

ほかに何かございしますでしょうか。

○西岡市長

どうぞお気軽に何でもどんなことでもおっしゃってください。庁舎と福祉会館以外のことでもどうぞ、防災ですとか重要なこと、環境ですとかいっぱいありますので遠慮なくおっしゃっていただければと思います。はい、先に。

○市民B

保健センターが市の中心部に移るということですのでごく便利になってありがたいと思っております。簡単なんですけれども。あとは新しくできる庁舎の3階に保健センターとファミリー・サポート・センター、支援センターが入るということで、大体、今の1階にあるものが3階の右下というか、子ども家庭支援センター、ファミリー・サポート・センター、今の建物の2階にある部分が保健センターと書かれた部分になるということですか。

○西岡市長

これはまだ決定ではありませんで、あくまでもイメージでして、これから予算のご議決をいただければ具体的なフロアの配置なども考えてまいります。ただ、市役所の1階部分にはどうしてもいろいろな窓口が来ると思います。それから、福祉会館の部分につきましてもマルチスペースが来ますので、どうしても2階以上になってしまうかなということは思いますけれども、いずれにしても子ども家庭部、市役所の子育て関係部署、それから今、保健センターにある子ども家庭支援センター、ファミリー・サポート・センター、こういったものを同じフロアで展開できるようにしたいと思っています。

○市民B

広さでいうと今の広さと比べてどうなる。

○西岡市長

今の広さとあまり遜色のないようなものを考えております。

○市民B

ファミリー・サポート・センターのほうを利用したいと思っているんですけども、預ける側のお家で預かってもらうか、預かっていただく人のお家、どちらかもしくはファミリー・サポート・センターの敷地内でも預かりますと聞いていまして、ファミリー・サポート・センターで預かる場合にどれぐらいの広さがそこにあるかというところは、すごく大事じゃないかなと思うんですけども、むしろそこで預けられるのであれば、安心して預けられるという面がありまして、来ていただくというのはちょっと負担が大きいし、相手側のお家もどの程度、安全性が確保されているか心配なので、ファミリー・サポート・センターで預けるという選択肢がすごくメインの選択肢としてあれば、安心してもっと利用できるといいのかなと思います。

○西岡市長

大変貴重なご意見でございました。そのことはしっかり子ども家庭部にも伝えるとともに、検討させていただきたいと思っております。これからいろいろな利用者の方や利用団体の方々からもいろいろな意見を聞いて、具体的に煮詰めていく作業に入っていきますので、大変貴重なご意見をいただけたと思っております。本当に今、一番西側にありまして、東町地域や梶野町地域の方々、通われるのにとってもご苦労されているんです。これが地域の中央に来ることによって、とても利便性が高まるようになればと考えています。よろしく申し上げます。4カ月の赤ちゃんに来ていただいております。どうぞ、そのこと以外でも子育て分野のことで、もし何かあれば、何なりと検討してください。どうぞ、大丈夫ですか。また思いついたら手を挙げて

ください。

#### ○市民C

市役所庁舎の建設はどんどん進めていただくということでよろしいと思います。もう大分いろいろなことを多方面から検討されて進めて内容も絞り込まれてきましたし、むしろ33年度末に完成するのかなということ自体が心配です。これからまだ基本設計うんぬんという段階です。国もオリンピックスタジアムを一生懸命つくっています。今年、この前テレビでやっていましたけれども、大体、形ができ上がってきたという段階で、小金井庁舎は今から基本設計うんぬんで、33年度末にできるのかなというのがむしろ心配になってきますので、どうぞ一生懸命頑張ってくださいと思います。

それで私、この地域のことでちょっと気になったことがあります、新潟でああいうような悲惨な事件がありましたね。それでちょっと通学路などがほんとうに安全なのかどうか心配になってきて、今日も私の家の近くですけれども、そのコンビニのところからずっと真っすぐいって、桜堤団地につながる道路があるんですね。あそこは〇〇さんという大きな農家の方がおられて、道路と畑との境がぼさぼさと高くなっていて、ちょっと向こうからの見通しがきかないというところなんです。ああいうものはなくなったらいいなと思っていたら、今日、一生懸命刈ってくれていて、向こうのオーケーストアからずっと上がってくる車なんかあるんですね。向こうから車が来るといことがわかるようになってきたんですね。今日はお礼を言っておいたんですねけれども、ああいうようなことも含めて、その通り、実は桜堤団地の方々が東小金井まで歩いていくんですね。その通りが最近、大変歩いて通られる方が多くなったんですね。ですから、より安全運転ですか、そういうものが図られたらいいなと思っていたんです。

街灯などを見ましたら、もう各電柱にLEDが全部ついていて、大変明るくなって、大変ありがたいと思っています。ですから、そこは安全かと思っていますんですけど、そこも長昌寺のお墓のところに防犯カメラがついていますね。市のほうでもそういうところにきちんとやっただけだということ感謝をしておるんです。ですから、私はまだこの近所しか見ていないんですけど、そういうところの安全をより配っていただけたらと思っていますので、まだどこかそういうようなちょっと不安だということもあるかもしれませんので、これから探してやっていきたいと思っていますんですけども。

あと、第三小学校の生徒さん、大分増えまして、先日も校長先生とお会いしましたら825人いらっちゃって、会議室がなくなっちゃったというようなこともおっしゃっていましたので、そういうような手当というんでしょうか、対応はどういうふうになっていくのかと思いますので、ちょっとさっきもおっしゃいましたが、人口が増えたということ、それに伴ってそういうようなことが発生しているのかなという感じがいたしますので、そんな点をもしお考えというか、ありましたらちょっとお願いします。

○西岡市長

貴重なご意見をありがとうございました。地元の地域の市民の方々のために本当に日夜ご尽力いただいております。感謝申し上げます。

まずは庁舎、福社会館、平成33年度、具体的には平成34年3月ですから、ちょうど4年後の完成を目指しているということになります。時間としてはおっしゃるようぎりぎりの感じがいたしますが、しかし、何としても実現しなければいけないと考えております。また工期を考えた発注方式というものも重要な視点かと思っております。やや専門的になりますけれども、デザインビルド方式ということで、設計建築一括発注ということも想定しております。いずれにしても頑張ってお力してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それから、2点目が安心安全についてでございます。私も新潟県のあの痛ましい事件に言葉がありません。まだ犯人は捕まっていないですね。本当にご家族の方のことを考えるといたたまれない思いです。本当に言葉がありません。小金井市においても安心安全も大変重要な、市民の健康とまちの安心安全はどんな状況であっても、常に守っていかなければいけないものだと思っております。やるべきことはいっぱいあるんですけれども、まず地域の見守り、子供たちを見守るたくさんの方が大事だと思っております。小金井は幸い町会、自治会、自主防災会、子供会、市民活動の活発なまちです。PTAの方々もほんとうに毎朝、雨の日も風の日も雪の日もまちに出て、危ない信号のところに立って見守っていただいている方々が大勢いらっしゃいます。そういった方々と力を合わせて子供たちをしっかりと守っていかなければいけないと思っております。

先日も第二小学校の学校公開、昨日、行ってきましたが、ちょうど帰りは集団下校の訓練だったんです。1年生から6年生、同じ地域の子供たちがみんなで仲よく下校している姿を見せていただきました。新潟の事件があったからというわけではありませんけれども、4月1日に新しい教育長、教育長がかわりました。大熊雅士さんにかわりました。新潟の事件の翌日にちょうど校長会という全員の校長さんが集まる会議がありましたので、教育長には子どもたちの安心安全、登下校の安全を改めてよくチェックしてくださいと。小金井市も残念ながら不審者情報がないわけではありません。安心安全メールなどでは時折、心配になるような情報が入ってまいります。したがって、子供たちの安心安全をしっかりと守るためになすべきことはしっかりとやっていきたいと思っております。

おかげさまで町会、自治会、子供たちの通学路への防犯カメラの設置を進めていただいております。これは抑止力になるだけではなくて、いざ何かあったときに犯人特定につながる重要なデータにもなりますし、時に交通事故などにおいても重要な解析データになります。

また、会長ご指摘のように、小金井市には8,600灯の市が管理している街路灯がございまして。そのうち、残りの7,000灯を昨年の11月から今年の2月末までに全部LEDに交換いたしました。LEDにいたしますと消費電力がかなり削

減されます。半分以上です。CO<sub>2</sub>の排出量もかなり少なくなります。何よりも長寿命。10年以上は使えるということになります。破損しにくいという面もございます。LEDに変えて照度が1.5倍から2倍に明るくなりました。これは防犯対策にもかなり有益だと思っております。

この8,600灯の市の管理するLEDでほぼ全て、ごく一部変わった電柱があるんです。すごく変わったデザイン性の高い、ほんとうにごく一部なんですけれども、本当にわずかなんですが、数はわかりませんが、10灯か20灯かそれぐらいになると思うんですが、それだけはどうしても今変えられなくて後から変えるというのがあります。ほぼ99.9%LEDをやっていると思います。

本当に会長がおっしゃるように、小金井市の治安、この安心安全を守り続けることはとても大切です。私が勉強させていただいたり、有識者の方から聞いてなるほどと思ったのは、きれいなまち、きれいにしているまちには犯罪は起きにくいということを知ることがあります。それだけ住民の目が行き届いていたり、連帯意識があったり、美化清掃活動をよくやっている、きれいなまちにはそういう犯罪が起きにくいと聞いています。

しかし、小金井は空き巣や不審者事件だけではなくて大変危惧しておりますのが特殊詐欺です。顔の見えない電話、メール、ファクスによる架空請求。残念ながら闇社会はこの小金井・国分寺エリアに毎日のように何か不審なアクションが来ています。そして、私に限って被害に遭うことはないと思っている人が被害に遭っているんですね。犯人は闇社会は物すごい知能犯です。あの手この手でもうすごいですね。私も寸劇を見たことがありますけれども、本当にもうだまされてしまうようです。ですから、今の自動通話録音機なども無料で貸与しておりますけれども、本当に小金井市民の方々が被害に遭わないように、これは行政だけではできませんので、地域の方々、市民の方々とみんなで力を合わせてやっていきたいと思っております。

#### ○市民C

防犯のことに関しては今月の31日でしょうか、小金井警察で防犯会議がありますので、またそこからいろいろとご指導があるかと思うんですよね。それで確かに梶野地区が、侵入犯が市の中でナンバー3ぐらいなんです。3番目ぐらいに多いということも聞いておりますので、やはり空き巣というんでしょうか、侵入犯が多いと。その辺も注意をしないといけないんじゃないでしょうか。今度は防犯係長がかわられまして、今までのベテランの方から、ちょっとお若い方にかわられましたので、またちょっと変わってくるかと思うんですが、警察のほうでも防犯のことに関して一生懸命やってくださっているし、また、地域の我々が関心を持って注意をしないかなきゃならないということでは、やっぴいかなきゃいけないと思っていますので、あとはすみませんが、第三小学校の点につきましても、ちょっと様子を聞かせてください。

○西岡市長

ご承知のように小金井の高齢者の人口は微増傾向です。人口予測はいろいろな予測がありまして、私も人口予測については非常に敏感に注視しています。最近出た国立人口問題調査研究所が東京都内の全ての市区町村の30年後の人口を予測されました。大変驚きましたのは、小金井市は大体5年から10年後ぐらいには人口が横ばいになって、いずれ下降していくだろうという予想だったんですが、この最新の国立人口問題調査研究所が出した試算はちょっと違ったんです。小金井市を含めて三多摩地域は2015年と2045年、この30年後は5つの自治体だけでは人口が増えていると。30年後です。それは小金井市、三鷹市、調布市、稲城市、狛江市。

○市民C

23区は。

○西岡市長

23区はばらばらです。増えていたり減ったりしますが。千代田区や港区なんかは増えています。23区はかなり地域性、格差がありました。多摩地域では小金井、三鷹、調布、稲城、狛江、これはどちらかというとも23区側の中央線と京王線、小田急線の利便性の高いところです。ここは30年後は人口が増えているという統計がありました。その推計も私としてはあり得る話なんだろうなと思っています。

小金井市の今後の土地の状況ですとか立地条件ですとかいろいろ考えますと、小金井市は少しずつ人口が微増していくのかという感じがいたしております。

一方で下降して減少していく時代がいつかやってくる、これは間違いないと思っています。ただその時期がいつなのかは、まだまだ推定し切れないという状況なんです。いつか必ず横ばいの減少には転じるものの、小金井市においてはいろいろな要因が重なって、人口が増えているということになっております。どこまで減るかはちょっとわかりません。

子供の数も先日、教育長から聞いた話ですけれども、三多摩地域で児童・生徒の数がこれから増え続けていく。上位に小金井市は予想されていますと聞いています。その中で東小金井駅の北口地域では、かなり人口の増加が高い場所になります。おっしゃるとおり第三小学校は1年生がもう5クラスになってございます。

では、地域の小金井市の4キロ、3キロ、小さな他の自治体に比べればコンパクトシティなんですけれども、小学校の9校、中学校の5校に児童生徒の数において少しずつ差が生じ始めています。実は先ほどC o C oバスがあかすの踏切のときそのまま一度も路線を見直したことがないというお話をしましたけれども、小学校、中学校の学区域につきましても、小金井市は今もまだあかすの踏切のままになっています。したがって、今後、小学校、中学校の学区域の見直しに着手をし

ていかなければいけないということで、既に教育委員会の皆様方と議論はスタートしてございます。

この学区域では、特に三小が非常に大きな学校になっています。連動して学童保育の利用者が増えてございます。学童保育も新しい学童保育専用の園所、校庭の中に2年後に設置をする準備をしています。待機児童解消に向けてさまざまな取り組みをしてございますけれども、連動して学童保育の希望者も増えてきています。大きな課題でございますが、大規模化にも応えていこうと思っています。

今後、学校につきましては、公共施設の60%が実は学校系の施設でございます。学校も大分、老朽化してまいりました。したがって、今後、学校の校舎、体育館も将来像をどうしていくのかと考えていくことも課題でございます。それから個別計画というものを作っていくこととなります。改築をするのか、あるいは手を施して長寿命化を目指すのか、14校のそれぞれの校舎、体育館含めた学校施設の将来計画をつくっていきますが、あわせて子供たちの児童・生徒の数や人口の状況を見据えるべきですし、さらにこれから新しい施設を建設するときには、何か1つの目的、単体でつくる時代ではなくなっています。いろいろな地域のニーズに合った、その地域に合った複合的な施設をあわせて連動してつくっていくこともとても重要な視点だと思っています。

#### ○市民C

ありがとうございました。

#### ○市民D

3点お聞きします。

最初のことは今現在、小金井が人口が12万ちょっとになっていますけど、スライドを見たとき何年後かに12万人とかになっていた。もう既に12万にきていますから、新しい庁舎が狭隘になってくるのではないかなということが1つです。大は小をかねますから、大きく作っておいたほうが、金はかかるんでしょうけれども、それが1つです。それから、2つ目が本庁舎がいらなくなりますので、その土地を売るとか何か使うとかすると、お金がこの財源を見ますと本庁舎の売却代金は入ってないですね。これは何十億になるかわかりませんが、今すぐは議会もあるから答えようがなければ答えなくて結構です。3つ目、二枚橋の旧焼却場跡地が、今、3分の2は小金井になっていると思うんです。3分の1は調布かどこかだと思うんです。たしか二、三年前、3分の1ずつ均等に分けて、3分の1は小金井で、もう3分の1を購入したと思うんです。ですから、今のリサイクルのところをあそこへ移せば問題がないんじゃないか。答えられる範囲内で結構です。以上です。

#### ○西岡市長

大変、市政にお詳しく感じられました。まずは市役所庁舎の面積が1万2,000平米で大丈夫なのかということですが、人口です。人口ですが、思ったよりも早く12万人を超えてしまったんですね。市としては人口のことでいえば、生産年齢人口、いわゆる15歳から64歳ぐらいまでの方々、特にファミリー世帯の方々に小金井市に住んでいただいたときに、長く小金井市に住んでもらいたい、小金井市というまちをついの住みかにもしてもらいたいと思っています。子育てをしている方、0歳から5歳まで、6歳で小学校に上がって、小学校、中学校と9年間で義務教育を過ごしていただきますが、小金井市に住んでよかったと思っただけのためには、子育て・子育ての教育環境を一生懸命向上していきたいと思って、私自身もこのまち、小金井で育った人間ですけれども、小金井市はとて素晴らしい教育資源やまちの資源がたくさんございますので、これは大事にしていきたいと思っております。

市役所庁舎の面積ですが、1万2,000平米では大丈夫ですか、手狭になりませんかということですが、今、対象にしている本庁舎、本町暫定庁舎、第二庁舎、文書倉庫、資機材置場、これ全部足すと1万6000平米です。ですから、1万2,000平米というのは適度な規模かなと思っています。私は市役所というのは、既にマイナンバーカードが普及しておりまして、小金井はマイナンバーカードの利用率が比較的、他市に比べて高いんですけれども、住民票と印鑑証明は全国どこでもコンビニエンスストアでも入手できるようになりました。今後、戸籍謄本や課税証明書など、マイナンバーカードがもっと利便性が高まってくると、市役所に届出関係の証明書をとりにくる人は少しずつ減っていくのかもしれませんが、でも、これから高齢者福祉、子育て支援、障害のある方の相談、相談機能はこれからどんどん私は重要になってくると思います。

残念ながら、今の小金井市役所はどのフロアも座って相談していただいているんですが、あまりプライバシーに配慮した設計にはなっていないんです。もちろん個室もあります。本当に込み入って人に聞かれない話はなるべく個室を用意する場面もあるんですが、とても十分ではありません。したがって、私はこれからの市役所というのは相談が非常に重要になってくるんじゃないか。一方で30年後、50年後はAIがずらっと1階に並んでいて、そこで行き先が判断されて、そこで誰かが待っているという時代が来るかもしれません。ですから、いわゆるICTの技術もなるべく4年後、最新のものも視野に入れながら設計をしていくことがいいのかなと思っています。

一方で、コスト意識も大事ですから、おっしゃる通り、過度に狭くして後で後悔することはもちろんできないだろうなと。市民の方にとっても利用しやすく、仕事をする職員にとってもやはり適度な広さ、適度な面積が大事です。

あともう1つは、市役所も障害をお持ちの方々を雇用しています。現在は1人もいらっしゃらないんですが、今の市役所ですと車椅子の方が十分業務のできるスペースがありません。したがって、障害をお持ちの方も雇用できるような環境も念頭に入れて設計をしていく必要がありますが、過度に大きくするつもりはありません。議会からももっとコスト意識を持つようにという指摘もかなり強く受けてい

ますので、適切な面積をしっかりと作っていきたいと思っております。

それから、庁舎の跡地でございますが、この計画が実現しますといわゆる未利用といいたいでしょうか、公共用地が本庁舎跡地、本町暫定の跡地、保健センター、文書倉庫、こういったところが公共用地としては集約することになって、未利用になります。ここにつきまして、検討はこれからになりますけれども、具体的に市議会の皆様方が基本設計などの事業をお認めいただけることができれば、より深く検討が進んでいきます。

そうしますと庁舎建設の実現性が高まってくれば、私は連動して使わなくなる、未利用となる公共用地の有効活用を真剣に考えていくことになります。その方法としては売却、あるいは定期借地などによる賃借、貸し出し、あるいは市が使う。あるいは何らかのそれ以外の方法で有効活用する、いろいろな選択肢がありますけれども、私としては公共施設の総量というのは全体的には抑制していかないといけないというのが基本的な考え方だと思っております。これは公共施設等総合管理計画の中でもつくりました。公共施設の規模がどんどん無尽蔵に拡大していきますとランニングコストも増えていきますし、後々また大きな課題を抱えることになります。ですから、多機能複合化という工夫をしながら公共施設の総量の抑制が今後必要になってくるかと思っております。そういう状況の中で、先ほど申し上げましたこの庁舎と福祉会館の建設が実現できれば、未利用となる公共用地は有効に活用していきたいと。具体的な方針はこれからということになりますが、まちづくりで貢献していく必要があるのかなと思っております。

それから、二枚橋跡地のことでございます。今日は時間の都合上、報告を省きましたけれども、私はこの間、最優先で取り組むべき公共施設の課題としては新庁舎、(仮称)新福祉センター、実はもう1つあります。不燃系清掃関連施設の整備です。不燃系の清掃関連施設は、先ほど説明しました庁舎建設予定地で暫定的にやっている缶、ペット、古紙、布、それから貫井北町の間処理場でやっておりますプラスチック、危険物、それから粗大ごみ。この大きく2つの処理施設を小金井市は今、稼働しています。缶、ペットを庁舎、粗大ごみと不燃ごみの中間処理場、貫井北センターのちょうど南側です。この貫井北町の間処理場がかなり老朽化を迎えてまいりました。今から手だてを講じないといざというときに稼働しなくなってしまって、市民生活に大きな影響が出ます。相当、老朽化しています。

それから、缶、ペットの施設は先ほども申し上げましたように暫定の施設です。いずれは庁舎建設予定地ということ承知で配置したほうがいいです。この不燃系の施設のリプレース、再整備計画を今年の3月に練り上げました。1つは2つの場所を決めました。1つは二枚橋です。昔、焼却施設があった場所です。もう1つが今の貫井北町でございます。二枚橋と貫井北町と2つあります。二枚橋は南側の半分を調布市さんにもう既に建設して、リサイクルセンターをつくっています。その北半分を小金井市がリサイクルセンターとして使います。そのためにはこの二枚橋は府中、調布、小金井、3つの市が入り組んでいる場所で、3市がそれぞれ土地を持ってございました。

小金井市は小金井市の市域だけでは建設が足りないので、府中市さんから一部を購入させていただいて、全体の半分の面積に粗大ごみの施設をつくります。中間処理場にある今稼働している粗大ごみの施設を二枚橋に持っていきます。順番としてはまず中間処理場に今、貫井北町でやっている粗大ごみと不燃ごみの積みかえなどの施設を二枚橋にまず最初につくります。その後、貫井北町を更地しまして、ここに庁舎建設予定地でやっている缶、ペットの処理施設を持ってきます。これで二枚橋が先行します。平成33年度ぐらいからの稼働になります。貫井北町は平成36年から平成37年ぐらいに稼働になります。そういう大きな計画を持っています。

これは実は小金井市にとりましては、大変、大切な市民生活を支えるためになくてはならない施設でございます。

一方で、焼却施設につきましては冒頭で申し上げましたけれども、平成19年の3月31日をもちまして、調布市と府中市と小金井市で、長い間、約50年稼働してきた二枚橋焼却施設の稼働を停止しました。しかし、その後、小金井市は独自の焼却施設の方針がなかなか定まらなかったものですから、もう今年で12年目を迎えましたけれども、三多摩地域の皆様方に小金井市の可燃ごみはこの間ずっとご支援いただいて処理をしていただきました。大変感謝をいたしております。

平成27年の7月に小金井市、日野市、国分寺市の三市で、焼却施設を稼働する一部事務組合を設立しました。そして、今現在は日野市域の中で新しい焼却施設を建設しておりまして、この建設が進んでおります。昨年の11月から工事を始めました。そして、平成32年、オリンピックの年、2020年の4月1日から新しいクリーンセンター、焼却施設が日野市域に稼働が開始されまして、日野市民、小金井市民、国分寺市民の皆様方の可燃ごみの処理をすることになります。

以上です。

#### ○市民D

図書館のことを伺いたいですけれども、もともと図書館も今の蛇の目の跡地に移るようなご公約をされていたような気がするんですけれども、図書館は現在どのように考えているのかなということと、あと結構、武蔵野プレイスとかに行かせていただいて、市外なんですけど、結構、子どもたちは、だいぶ遅くまで遊んでいて、あんなようなきれいな施設が小金井市内にあればとてもいいのになと何となく思っているんですけれども、何か子どもが遊べる広場とか、そういうのがあればいいなと思うんですけど。

#### ○西岡市長

ありがとうございます。

一例として選挙戦のときに庁舎問題の解決の1つの手段として、庁舎、福祉会館、図書館というものを庁舎建設予定地にまとめて6施設複合化というのをお示しいたしました。これは事実でございます。その後、市役所の中でさまざまな検討をさ

せていただきましたが、やはり時間的なこと、財政的なこと、優先順位、さまざまな課題を検討した結果、まずは庁舎と福祉会館。庁舎はもう先ほど説明しましたように待ったなしです。福祉会館はもう今ない状態です。一刻も早く機能を回復したい。そして、清掃関連施設、これは選挙戦のときには訴えていませんでしたけれども、これも老朽化が相当進行しているということが、市長になって十分理解できました。まずはこの3つを優先させてくださいということで、ゼロベースにさせていただきます、検討を重ねて3つを優先することにしました。

図書館につきましては、耐震基準は満たしています。そして、エアコンが大分古かったのもともと図書館の築は大体四十数年、正確な数字が出なくて申しわけないですが、エアコンを全部1億円以上のお金をかけて修繕しまして、今年は安全性の観点から内壁、中の壁に少し危険なところがあって直していきます。ですから、図書館本館につきましてはもう少し使わせていただきたいと思っています。ただ、今後一切何もしないかということではありません。図書館もこれから長期的なスパンで考えて、どういう図書館が小金井市に望ましいんだろうかということをしっかり考えてまいりたいと思っています。先般、図書館協議会という市民参加による協議会の方々から、図書館はこうあるべきですという答申をいただきました。この答申に基づいて、小金井市としても中長期計画をつくってまいりたいと思っています。4キロ、3キロの小金井市の中で既に図書館があるところもあります。学校図書館もあります。大学や高校も非常に多いので、大学や高校の図書館も利用させていただいています。そういう状況の中で小金井市としてどのぐらいの規模の、どの場所に、どんな機能を兼ね備えた図書館をつくっていったらいいだろうということはしっかり考えていきたいと思っています。ちょっと時間軸に多少ずれがあるということはまたご理解いただきたいということです。武蔵野プレイスは私も何度も行っています。小金井の小学生にもたくさん会っています。小金井の子供たちが利用させていただいているのは、武蔵野市さんに大変ありがたいことだなというふうに思っています。なお、小金井には小金井公園、大学や高校、野川やくじら山、小金井にしかない、いいものがいっぱいあります。小金井の子どもたちの遊び場づくりはとても大切です。また、最近、プレーパークというものを東京学芸大学につくっていただいたりしています。子どもたちの遊び場、子どもたちが集えるような庁舎と福祉会館を、というのはいいご提案です。屋上をどう利用するかというのも非常にこれから大きな課題かと思っています。かなりの屋上となります。もちろん、建物として絶対に必要な施設が出ちゃいますから、全面的に利用できるわけではありませんけれども、例えば屋上庭園にしたらどうですかと。そこで子供たちが遊べるスペースをつくったらどうですか、中央線から見える場所、真正面に見える場所なので、小金井市のPRにもなるんじゃないですか、なんてご意見をいただいたりもしています。また、市役所庁舎には一定の広場もできますので、そこでぜひ遊んでいただきたいと思っています。

待機児解消に取り組む中で、どうしても駅周辺の保育園を希望する方々が多いです。そうしますと駅周辺ですとどうしても園庭のない保育園が誕生してしまいます。も

ちろん園庭がなくても保育事業者は子どもたちの体力づくり、健康づくりはいろいろなことで取り組んでくれてますし、お散歩カーでいろいろな公園に散歩に出ています。私が小さいころに見た景色と小金井はまちの様相も随分変わりましたが、それでも。平日の昼間、ベビーカーに乗った子どもたちがどれほど多いか。梶野公園に午前中すごいですよね。

○市民E

そうですね。その向こうの桜堤団地の広場なんかにもたくさんいらっしゃる。

○西岡市長

本当にご指摘のとおりでして、子どもたちの遊び場、保育園児の子どもたちの遊び場、こういったものの確保は非常に大切な観点だと思っております。私は貴重なご意見というか、同じ問題意識を共有しておりますので、一生懸命考えていきたいと思っております。

○市民F

同じ図書館のことでよろしいですか。私も孫を連れてあそこのプレイスに行くんですけれども、とても子どもたちが居心地がいいという感じなんですね。市長は子どもがいるところに行かれましたか。本当に見ていてそばで幾らでも時間を過ごしてくれる、そういう本があるだけじゃなくて、雰囲気、そういうところをちょっと学ぶ、まねしていただきたいなと思っております。

○西岡市長

ありがとうございます。

カフェがあつたり、家族で楽しめたり、子どもたちがあそこまでたくさん行きたがるということは何かある。子どもたちのコンセプトかと。それで小金井にもう1つ大事な観点は、静かな勉強できる場所が欲しいというのももともとと言われていました。私も浪人生活、大学受験をしているときには、あえて自宅で勉強するよりも外にいてみんなと何か静かに勉強しているほうが合っているタイプだったので、武蔵野市のコミュニティセンターによく行ってたことを思い出しております。ほかにも最近宮地楽器ホールの1階ですとか貫井北センターなどを開放しているんですね。そうしますと受験生、高校生の方々、読書したい方がもうびっしり使われている。ああいうスペースも非常に重要ななと思っております。そういう意味では、今度目指している新庁舎と（仮称）新福祉会館につきましては、多目的室やマルチスペースも活用していろいろな利用方法をこれから展開していきたいと思っております。

今後の公共施設のあり方を考える際には大いに参考にさせていただきたいと思っております。

○市民G

玉川上水の車がじゃんじゃん通るほうではないほうの道路の脇にいこいの家ってありますね、〇〇さんから譲り受けられた。あれはうわさに聞くと持ちこたえられないからという話で、どこかの町会長さんが来ておられて、ここも更地にされて駐車場になるんじゃないかなんて、いこいの家というのはどういうふうになるんですか、今の現状は。

○市長

寄贈者の方には、本当にとってもいい場所にございます、玉川上水の南側にあるすばらしい場所で、ご寄付いただいたことに感謝したいと思います。

今現在、この帰属が社会福祉協議会の方々の所有ということになっています。市の管理ではなくなっております。社会福祉協議会の方々がこれからこうした建物をどのようにしていくかということを考えることとなりますので、今、私のほうで具体的にこうなっておりますということで明確なお答えができないことをお許しいただきたいと思っております。すいません。

○市民H

長時間、黙っていたんですが、ひとこと。市庁舎建設、福祉会館建設、その他、安全、セキュリティ問題、みんな基本的な話を今まで話題に出てきたわけですけども、1つ、市長さんはちらっとおっしゃったんですが、小金井の本当によさというのは何だろうかと思った場合に、要するに人がいつまでも生活し続けたいと考える、その小金井の要素とは何だろうかと思った場合に、私は環境なんだと思うんです。これは皆さんご存じのとおり、小金井は東京のオアシスということが言われていることもございますし、それから、子供たちのいろいろなお話がさっき出ましたけれども、野川公園とか武蔵野公園は私も近いものですから、やはり子どもたちが家族連れでほんとうにあそこの川で楽しそうに魚とりをしたり、ほんとうに平和な姿そのものなんです。したがって、やはり東京のオアシスと言われている、東京の中でも珍しい、そういうよい環境というものを保全するというのが今、小金井に我々が住んでいる人間の責任でもあるし、そういうものを後世の人たちに残していくという責任があるんじゃないかということをもまず申し上げた後で、申し上げたいことは残念ながら、おそらくここにいらっしゃる方でもご存じない方は結構いらっしゃるんじゃないかと思うんですが、東京都が50年以上前につくった道路計画というのがあるわけです。

それで、これは残念ながら小金井で知っている人は、何となくあれしていても、そんな計画あるんですかなんてよくあるんですけれども、要するに今の計画されているものになりますと、非常に環境のよい典型である武蔵野公園を中心に、そこに

縦横両方に通る計画が、18メートル道路が計画されているわけですね。それで、そういうものができる就非常に環境上いろいろと問題があるので、近隣住民を中心としていろいろと何とかしてこれをストップしたいなという運動もあるわけですが、それで今までいろいろな署名活動とかいわゆるパブリックコメント、東京都もびっくりするぐらいの数のパブリックコメントが出て、見直しをしようじゃないか、すべきではないかということ、そういう声が非常に強いわけですがけれども、残念ながら今のところ東京都の事務レベルでは、要するにこれは50年前にできた計画ですと。あそこだけ道がないので便利性を向上させるためにも必要だということで、計画が前に進められようとしている状況なわけです。

それで、問題はそういう状況を踏まえて、もちろん小金井の市民の皆さん、我々がどういうふうにか考えるかが一番重要なんですけれども、市長さんはしょっちゅうおっしゃっているいろいろな考え方があってということなわけですが、おそらくもちろん道路をつくること自体がそれが便利になるという意味で反対する人は誰もいないと思うんですけれども、もしそれがほんとうに小金井でも唯一非常に大切な自然というものが破壊されるんだとしたら、それは別問題だという考えも当然あり得るわけで、ですからその辺が今現状が小金井市民の意識がどういうふうにあるのか。

必ずしも客観的なデータが欠けているところがあるわけですがけれども、いずれにしてもこういう自然を大切に保全すべきだということは、やはり我々、自然にそこは共有できるはずだし、すべきだし、それに基づいてできることはすべきじゃないかということで、それで私が思っていますのは、私個人じゃなくて一生懸命こういうことに関心がある市民が非常に強く感じていることは、まずこれは東京都の道路計画だと。小金井が別に計画した話ではないということが1つあって、そういう意味でこの東京都の政策が小池知事は環境先進都市東京ということをや彼女は少なくとも2回にわたって公の場でそういうことを表明してしまっていて、私が考えるには、もしそれが東京都の政策だとすれば、小金井というのは1つの典型的なモデル地区になるんじゃないかと、環境保全のための。もし、そういうことで、確かに例えば西岡市長さんは何とか小池知事もコンタクトされて、現地を視察したいということをや、しろということも言っているわけですがけれども、まだ実現しない中で、そういうことが実現して、彼女が確かにこれを見てほんとうにすばらしいところだということがわかれば、彼女の唱えている環境先進都市というビジョンと実際の小金井の実態を見て、両者は別に反対のための反対じゃなくて、確かにいい形でこれを保全するということが、その両方にとってのメリットになるんじゃないかということで、何とかそういう形で決着、いい方向に少しでも進むことができるといことを感じておりました、きょう市長さんとの意見交換会ということなんですけれども、そういう意味での市長さんのお力添えをいただきたいと。

具体的に申しますと、そういう市民の声を小金井の環境という側面から考えて、計画されている道路計画をつくらなくてもというか、環境保全のために道路をつくるのがマイナスになるという感じが強いものですから、その面から何らかの形で

お力添えをいただければということなんです。

その関係で市長さんが時々おっしゃっている実際は東京都の政策だけれども、これは小金井の計画でも一応それをエンドースというところまでいかないでしょうけれども、側面的に必ずしも反対はしないという、それは政策の一貫性という立場からという話を時々されているわけですがけれども、繰り返しですけれども、市民の間でいろいろな意見があるという、ですから、そのいろいろな意見というのも便宜性というところからは一致していても、環境保全という点から少し再考する余地があるんじゃないかということ踏まえて、市長さんもここでもう一度この視点に立って、この状況を見聞きしていただいて、うまい方向に解決すればいいんじゃないかと。

それで私は、結論ですけれども、そういうことで仮に確かにそのとおりだということで、責任者である小池都知事がそういうことになったとすれば、これはすばらしい環境はずっと未来永劫に残ることになるわけだし、大げさに言えば、世界遺産にもなり得るといふ、世界的な遺産になり得る、そういう場所なんだろうと思うんです。ですから、一旦壊しちゃったら環境というのはもとに戻らないわけですから、何とかその点を重視していただいて、うまく解決できないかということ繰り返しなんですけれども、訴えたくて今日、出てまいりました。よろしく願いいたします。

#### ○西岡市長

ありがとうございます。またいつもご熱心な活動をしていただいておりますし、いろいろなご提言を私のところにもしていただいておりますし、視座に富んだご意見をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

1つは都市計画マスタープランというものが既に市民参加で策定されてございます。行政の継続性の観点からも、都市計画マスタープランを尊重する立場であることは何度もご答弁させていただきました。その中ではいわゆる3・4・11、縦のラインは推進、そして、斜めのライン3・4・1については見直しを求めるということになっています。しかし、現実問題としてはまだまだ多くの課題がありますし、東京都と市民の方々の意見交換も始まったばかり。そして、たくさんのご意見が東京都に寄せられているし、市議会からもさまざまなご意見が寄せられている。今はまず都と市民の方々、地元の方々といろいろな意見交換をしっかりすべき時であり、また有意義なことだと思っております。東京都がどのような考えを持っているのか、そのことも私たちは知る必要があると思っております。そして、意見の中には例えばアンダーパスによって地下を通すことができないのかとか、道幅をもっと狭くできないのかとか、条件つき賛成とかもあるんです。いろいろなご意見がある。そもそも先生のように道路計画そのものを必要ないというご意見もありまして、大変、多種多様です。そして、斜めの3・4・1と違いまして、縦の道はネットワーク道路、どんどんつながっていきます、これが仮につながったとすればですね。そうしますと防災の関係やさまざまな渋滞の状況、道路ネットワークの観点からいろ

いろな改善が図られるのではないかという東京都の考え方も示されています。一方、東小金井駅を中心として、この道路が完成することによって医療面からいって大変有益ですと。ぜひ3・4・11号線については東八道路、甲州街道までつながっていくことは市民生活や高齢者の方々の医療面においても大変有益ではないかというご意見が私の元には届いております。いずれにしましても、私としては地元で配慮を欠くような事業化は両路線とも希望することはないことは申し上げておりますので、私としては現時点ではこの姿勢を大切にしていきたいと思っております。ひとつよろしく願いいたします。

#### ○市民 I

お尋ねしますけれども、各公園もありまして、保育園の方とか多くの方が小さい子が利用されておりますけれども、この辺ですと梶野公園、農工大の近くに栗山公園がありますけれども、栗山公園のそこの表示板には1から6番まで注意事項が書いてあるんです。その3番目には公園内では喫煙しないと、たばこ吸っちゃいけないと。しかし、その隣の木には喫煙の際、他のご利用者にご迷惑にならないようお願い申し上げます、小金井市と。これは整合性がとれないんじゃないかと思うんですけれども、ご見解を。

#### ○西岡市長

すいません、ちょっと調べさせていただきたいと思います。どちらが環境政策課として保持していく体制なのか。整合性がないこともよくないですから、そういうことで方針が決まっているのであれば、整合性をとるべきだと思っておりますので、修正すべき点があればしっかり修正させていただきたい。

#### ○市民 I

2年ぐらい前からそれが貼ってあります。

#### ○西岡市長

わかりました。ご指摘ありがとうございます。

※ 栗山公園内に設置してある表示板（制札板の裏に記載してある注意書き。）に「公園内では喫煙しないこと」と標記している件については、後日「喫煙の際は、公園利用者に配慮願います。」との標記に訂正させていただきました。

#### ○市民 J

社会福祉協議会というのは市の予算が大体400億円、大ざっぱに言うと400億円ですね。それに対して社会福祉協議会の予算は見たんだけど、あれ、少ないなと思ったんです。ただ、社会福祉協議会の本部へも行くし、包括支援センターにも行くけど、ただ、そんなに高い予算をとっていないんだけど、国としては社会福祉協議会かボランティアを大いに活用すると言うんだけど、ただ、昔は極端なことを言えば、社会福祉協議会へ行けば、いわゆる福祉会館へ行けば弁当まで食えると。そこまでいくと行き過ぎだけど、お菓子、駄菓子をちょっとみんなに出すとか、そういうようなことでもう少し福祉会館に関するものはある程度甘くという語弊があるけど、福祉関係というのは案外ゆったりした気持ちにさせるというのは、福祉行政であって、軍隊だとかあっちのほうはぴしっとやるべきだけど、福祉事業というのは予算をちまちま削るべきではないと思うんですが、そののところはどうお考えでしょうか。

#### ○西岡市長

まず、小金井市の予算を正確に申し上げます。特別会計を含めた小金井市の年間の総予算、これは一般会計予算、4つの特別会計、下水道、国民健康保険、介護保険、後期高齢者ですね。667億7,924万円です。そのうち一般会計予算と言われているものが440億円ということになってございます。社会福祉協議会の方々には運営費補助ということで、さまざまな補助、助成制度、これは国や都の助成もあると思うんですけれども、こういったものを総合的に反映して、福祉会館の方々には助成・補助をし、そして、適切にいろいろな福祉事業で役割を担っていただいております。

私としては住民福祉の増進というのが地方自治法に定められた、私たち地方公共団体のさだめ、使命だと思っております。そして、最小の経費で最大の効果を上げようというのも地方自治の中でうたわれている大切な私の考え方でございます。ですから、もちろん困っている方や社会的に弱い立場の方々を守るために行政は高齢者、子ども、障害をお持ちの方、住民福祉を増進していくというのは使命ですから、行財政改革の取り組みの成果というものは、私は福祉にこそ振り向けられるべきだと思っております。小金井市はまだまだ福祉サービスの点で近隣市に比べれば、あるいは23区に比べれば劣っている部分もありますので、頑張っていきたいと思っています。

もう1つは、行政はただお金さえ、予算さえつけばいいということだけではないです。まちの総合力というものがあると思うんです。それは例えば地域の方々の挨拶であったり、見守りであったり、隣同士のコミュニティであったり、いざ本当に首都直下地震のような大災害が来たときに、私たちは関東大震災以来、東京では経験していないわけです。しかし、阪神淡路、新潟中越、東日本大震災、国内においては未曾有のあつてはならない本当に恐ろしい災害が頻繁にあります。こういうときにその地域のやはりいろいろな真価が問われています。日ごろからそういう訓練をしたり、コミュニティの形成に頑張っていた地域と、あまり頑張らなかった地

域とではいろいろなことに差が出てきております。しかし、住宅都市である東京都内の真ん中にあります町会、自治会への加入率ももう40%台です。マンションも増えています。昔から住んでいる方々、新しく住んでいる顔が見える関係づくりというのは大きな課題だと思っていますし、そういう地域コミュニティの形成に努力することこそが、私は福祉の増進にもつながっていると思うんです。あそこにああいう方が住んでいて、こんな地震が起きたら今、助けになれるか、それだけの情報をどれだけ持っているか。

もう1つは、先ほど12万市民、6万世帯と申しあげましたけれども、1世帯平均2名ということなので、小金井市は学生さんも多いまちですけれども、単身世帯が非常に増えている。これはもう高齢者の方もそうですし、学生の方もそうですし、お若い社会人の方も多いのかと思っています。単身世帯が多いということも小金井市のまちづくりや福祉を考えると、非常に大切な観点だと思っています。

#### ○司会

そろそろ時間も迫っておりますので、あと1つか2つ程度にしたいと思いますが、ご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

#### ○西岡市長

どうぞ何でも、せつかくの機会ですから。はい、どうぞ。

#### ○市民K

実は、ご参考まで、ご存じの方も多と思うんですけれども、世界的に国際的に見ますと、とりわけ環境問題、これは人権問題の1つだという非常に基本的な考え方があるわけです。そういう考え方に基づいて市民の生活、とりわけ環境の悪化につながるような公共事業その他を行う場合には、計画づくりの段階から市民が参加しなければいけないという大原則があるんです。釈迦に説法で申しわけないんですけれども。それでそういう国際条約、私、大学で仕事からみで知っていたので、そういうほうもあれなんですけど、そういう大原則に照らしますと、東京都の今の道路計画というのは50年以上前ということは、このあたりもほとんど田んぼで、人もほとんど住んでいなかった。そこに市民参加は考えられなかったんです。要するに行政が一方的に適当に線を引いて、こうやったほうが便利がいいだろうということで作られた。そもそもそういう計画なわけです。したがって、そういう原理原則に立ちますと、やはり50年もたつと状況はいろいろな意味で変わっているわけだから、特にこの場合には環境に関係のある非常に特別なところなので、やはりそういう原則から見てもある程度基本的な見直しというのはあつてしかなるべきなんです。それが全然そういうことじゃなくて、今の現状、西岡市長は、今の東京都がどう考えているかももう少し調べる必要があるとおっしゃったんですけれども、私は

ずっと関係の会議に出てまいりましたけれども、この話だけじゃなくて客観的に見て、今の状況というのは当該市の小金井市民が何と言おうが、どういうコメントを出そうが、これは50年前にできた計画に基づいている計画だから、もうやるよりしょうがないのだと。それがほんとうにはっきりした。要するに少なくとも行政レベル、知事を巻き込んだ、もちろんそれは承認しているのは彼女だと思いますけれども、一応事務レベルでの基本的な態度だということは、はっきりこの間も東京都の会合でもわかったんです。したがって、それが最初に申した主体的な考え方が非常におかしい話なんです。だから、そういうこともあるので、西岡市長にお願いしていることは、そういうことも踏まえて一度、最高責任者である小池知事にお忙しいところあれなんですけれども、会っていただく機会をつくっていただいて、そういう市民の声もあると、国際的な考え方もあると。彼女はすぐ何でも英語を使って国際的なことが好きな人ではありますし、2020年の東京オリンピックも控えて、日本という国、特に東京は国際的に見ても恥ずかしくないようなことでいろいろな状況に持っていくというのは、この道路問題1つとってもそういう問題ではなくて、東京都、日本のイメージという観点から見ても異常なことだと思うんです。そういうことも頭の隅に置いていただいて、以上です。

#### ○西岡市長

ありがとうございます。小金井市の魅力はいっぱいありますし、ないものねだりよりもあるもの探し、そしてあるもの探しからあるもの磨きをしようというのが1つのフレーズとして呼びかけております。小金井は水と緑、桜と公園というのが環境面で非常にすばらしいものがあります。しかも新宿まで武蔵小金井から25分程度、東小金井から21、2分程度で新宿まで、特別快速は止まりませんが、始発がある、終電間際の電車もある、便利ということもあります。その立地条件の中で今もなお減少したとはいえ、雨水浸透ますの設置率は日本一で、たしか64%ぐらいまで伸びています。降った雨が地中に戻るという雨水浸透ますの設置率ですね。これは圧倒的な数字を誇っていると思います。それはわき水を後世に残そうという先人の方々の大変な決断と英断によるものです。小金井で家を買った方がもう自動的にそれをつけるという、努力目標という条例なんですけど、もう自動的にほとんどそうになっています。小金井市に家を買う、小金井市に建物を建てるということは、必ず地中に降った雨、水が戻るんですよ。都市化が進んで、アスファルト化が進み、降った雨が屋根から雨どいを通して一気に下水に流れていく。これはやはり地下水の涵養につながりませんし、特に国分寺崖線ではいろいろなわき水が出ています。なくなって枯れてしまったところもありますけれども、今もなおこんこんと水が出てくるところがあります。これは魅力です。

野川という川は大雨さえ降らなければ、もうわき水だけを集める川になっています。国分寺の真姿の池、日立研究所を源泉として流れてきます。国分寺崖線に沿ってこのわき水が集まり、そして多摩川に注がれる。私が小さいころはまだ下水道が十分完備されていなくて、いつもおってヘドロがあって、ちょっと泡立っていた

りして、もうとても川に入ろうとか近づこうと思える川ではない時代がありました。

その野川の環境をもとに戻そうじゃないかということで、先輩方が頑張ってくれた努力、私は野川は奇跡の川だと先輩方から教わっています。この川を大切にしていかなければいけない。それから、もともと小金井というまちは桜でにぎわったまちです。武蔵小金井駅はもともと大正13年にお花見をするための臨時の駅として誕生したのが武蔵小金井駅です。正式な駅になったのは大正15年ですから、桜がきっかけで発展したと歴史では学べるという観点もあります。どうぞ。

#### ○市民L

いいですか、もう時間がないので。東小金井の駅の環境のことで思い出したんですけども、私、それこそあまりにもちょっとしょぼかったんですね。それで寄附をいたしまして、東小金井駅前の緑化に使っていただきたいということで。その場合にはそのお金はいつの段階でどのようにつながるのでしょうか。

#### ○西岡市長

環境を大事にしていきたいと。東小金井駅は北口で今、区画整理を進めておりまして、これから東小金井駅北口ロータリーの修景計画。修景というのは修めるという字に景観の景です。修景計画、これはいわゆる緑化とか時計塔の部分とかデザイン、ロータリーをデザインしていく会議がこれから始まります。

例えば既に東京小金井ロータリークラブの方々から時計塔の寄贈をいただいています。まだ場所は決めておりません。ここにこういう時計を置く、ここにこういう緑化をする、ここにこういう緑の部分などのデザインをする会議が始まります。

具体的にはまだ明確に申し上げられませんが、平成の32年度ぐらいには大体計画が固まっていて、具体的な植栽とかに入っていくと思いますので、そのころに有効に活用させていただきたいと思っていますので、一つよろしく願います。

以上でございます。

#### ○司会

それでは、お時間となりましたので、最後に市長より一言申し上げまして、終了とさせていただきます。

#### ○西岡市長

今日は2時間にわたりまして貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。人数がお天気の関係もあったのでしょうか、きょうも皆様方の参加によりまして非常に濃密な、密度の濃いいろいろな意見交換をさせていただいたのかなど。一緒の方と何度もいろいろな意見交換をさせていただいたのはそれはそれで大変

よかったと思います。

まだまだ課題山積の小金井市でありますけれども、このまち小金井を将来世代にしっかりと引き継いでいけるように、一生懸命これからも頑張ってまいりたいとこのように思っております。まずは当面、新庁舎、(仮称)新福社会館、清掃関連施設のこの3つの課題は何としても将来のためにも解決しておきたいと思っております。どうか皆様方にもご理解をしていただけたら、大変ありがたいと思っております。

また、小金井で育つ子どもたち、今日はかわいい4カ月の赤ちゃんにも参加していただきましたけれども、子どもたちにとってもこのまちがいいまちだと精いっぱい引き続き努力してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。今年市制施行60周年を迎えるということで、いろいろな事業に取り組ませていただきますので、ぜひ皆様方にも60周年の事業、盛り上げていただきたいと思っております。

本日は貴重なお時間をいただきまして、まことにありがとうございました。

#### ○司会

以上をもちまして、平成30年度第1回市民と市長の座談会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。アンケートにつきましては退出の際、回収いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。